

## P.15 WEB04 コンプライアンス教育研修実績

コンプライアンスに関する方針および基本的事項については、コンプライアンス基本規程に明記しています。またSMMグループ行動基準を制定し、全グループ会社従業員に対してコンプライアンスを徹底しています。なおSMMグループ行動基準やコンプライアンスに関する教育は、新入社員教育や昇格者研修などの機会を捉えて実施し、周知徹底を図っています。

総合職新入社員研修受講者数（本社採用一般職含む）	36
昇格者研修受講者数	72
コンプライアンス研修（ベーシック編）受講者数	43
コンプライアンス研修（アドバンス編）受講者数	101

## P.16 WEB06 労使協議例

委員会等の名称	機能
労使協議会	経営状況・営業状況・業績の見通し他に関する説明・質疑応答、組織改正・組合員の労働環境の変更他に関する協議等
安全衛生委員会	組合員の安全衛生に関連する状況報告・検討等
賃金制度委員会	賃金制度に関する調査、分析等
住宅専門委員会	住宅制度に関する調査、検討等
労災職業病委員会	労災・職業病に関する調査、検討等
労働時間委員会	労働時間に関する調査、分析等
再雇用委員会	再雇用制度に関する調査、検討等
福利厚生委員会	福利厚生制度に関する調査、検討等

賃金制度委員会以下に記述した表中の各委員会については、あくまで調査・分析・検討のための専門委員会であり、労使により課題を付託されて設置されます。また、ここで作成される「答申」「報告」は、調査・分析・検討の成果であり決定権は持たないため、改めて労使間で協議し、合意した内容について実施します。

## P.19 WEB07 磯浦工場 EMS 運用開始後の主な改善点

磯浦工場が立地するのは瀬戸内海に面する愛媛県新居浜市です。瀬戸内海は、豊かな水産資源に恵まれながらも閉鎖性水域であり、排水の管理には特別に神経を使います。

排水の処理は、当初からの設備に手を加えながら行ってきましたが、製品の種類、量の拡大とともに負荷が増し、処理設備の増強・整備などを進

めました。一方で、燃料タンクの受入口からこぼれた油が工場内排水路に浮くなどヒヤリとする事例も見られ、幸い重大な環境影響は発生しませんが、リスクを評価し、順次態勢整備を進めてきました。EMS運用開始後の主な改善点を例示します。

改善項目	概要
排水経路	遮断装置を増設 (pH 異常時の自動遮断装置および手動遮断堰)
	油汚染に備えて油水分離槽を設置
原料・燃料タンク	受入口のキャップの施錠管理化(26箇所)
	受入口からこぼれても防液堤の中に落ちるように改造
リサイクル	排液中の銅やニッケルをSMM内の製錬工場では回収するルートを確立
監視体制	専任の係員を設けて24時間監視(構内保安の一環として排水も監視し、異常時には操業停止を指示することができる)
	水質監視装置の故障に備えて監視装置を2重化
訓練	種々の排水関係事故を想定して、年間20回以上の訓練を実施

2008年5月末には異常排水を揚水・貯留するための緊急貯槽を設置しました。安全審査、貯水訓練を経て使用できる体制となりましたが、本当に使用する日が来ないよう、日々の運転管理をしっかりと積み重ねていきたいと思っております。



2007年7月水漏洩対応訓練の様相

## P.20 WEB08 2006(P.14)、2007(P.12) 版環境報告書の修正

(単位 t)

	06 環境報告書	07 環境報告書	
INPUT	亜鉛精鉱・鉛精鉱	(誤)83,000 ⇒ (正)137,000	(誤)79,000 ⇒ (正)123,000
	亜鉛・鉛系スクラップ類	(誤)67,000 ⇒ (正)14,000	(誤)56,000 ⇒ (正)12,000

P.23 WEB10 2007 年度 SMM グループの PRTR

2006 年度 SMM グループの PRTR ( 修正版 )

2007 年度 SMM グループの P R T R ( 単位 t )

No	化学物質名	排出量			移動量	
		大気	水域	土壌	下水道	廃棄物
1	亜鉛の水溶性化合物	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
2	2-アミノエタノール	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0
3	アンチモン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
4	石綿	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1
5	エチレングリコール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
6	エチレングリコールモノエチルエーテル	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
7	カドミウム及びその化合物	0.1	0.0	0.0	0.0	4.4
8	キシレン	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4
9	銀及びその水溶性化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
10	クロム及び三価クロム化合物	0.4	0.0	0.0	0.0	92
11	六価クロム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
12	クロロホルム	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
13	コバルト及びその化合物	0.1	0.0	0.0	0.0	33
14	無機シアン化合物	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
15	ジクロロメタン (塩化メチレン)	15	0.0	0.0	0.0	0.5
16	N, N-ジメチルホルムアミド	0.1	0.0	0.0	0.0	1.7
17	有機スズ化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
18	スチレン	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
19	セレン及びその化合物	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5
20	チオ尿素	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
21	銅水溶性塩	0.0	0.3	0.0	0.0	25
22	トルエン	4.2	0.0	0.0	0.0	9.7
23	鉛及びその化合物	3.6	0.2	0.0	0.0	590
24	ニッケル	0.1	0.0	0.0	0.0	4.9
25	ニッケル化合物	2.5	0.3	0.0	0.0	79
26	バリウム及びその水溶性化合物	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
27	砒素及びその無機化合物	0.1	0.2	0.0	0.0	18
28	ふっ化水素及びその水溶性塩	0.0	20	0.0	0.0	1.7
29	ほう素及びその化合物	0.0	76	0.0	0.0	5.1
30	ホルムアルデヒド	0.2	0.1	0.0	0.0	6.3
31	マンガン及びその化合物	0.0	0.5	0.0	0.0	1500
32	モリブデン及びその化合物	0.1	0.9	0.0	0.0	26
単位 : mg-TEQ						
33	ダイオキシン類	360	0.0	0.0	0.0	6.1

※ 届出化学物質数 42 ( 0.1t 以上のものを掲載 )

※※ 自社埋立てによる排出はありません。

2006年度SMMグループのP R T R (単位 t)

No	化学物質名	排出量			移動量	
		大気	水域	土壌	下水道	廃棄物
1	亜鉛の水溶性化合物	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
2	2-アミノエタノール	0.4	0.4	0.0	0.0	1.2
3	アンチモン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
4	石綿	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
5	エチレングリコール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
6	エチレングリコールモノエチルエーテル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
7	エチレンジアミン四酢酸	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
8	カドミウム及びその化合物	0.1	0.1	0.0	0.0	4.2
9	キシレン	2.2	0.0	0.0	0.0	0.5
10	銀及びその水溶性化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
11	クロム及び三価クロム化合物	0.6	0.0	0.0	0.0	96.3
12	クロロホルム	0.2	0.0	0.0	0.0	0.8
13	コバルト及びその化合物	0.1	0.0	0.0	0.0	24.3
14	エチレングリコールエーテルアセテート	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
15	無機シアン化合物	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
16	ジクロロメタン (塩化メチレン)	18.3	0.0	0.0	0.0	0.8
17	N, N-ジメチルホルムアミド	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
18	有機スズ化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
19	スチレン	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
20	セレン及びその化合物	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5
21	チオ尿素	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
22	銅水溶性塩	0.0	0.4	0.0	0.0	32.5
23	トルエン	3.4	0.0	0.0	0.0	8.0
24	鉛及びその化合物	2.7	1.1	0.0	0.0	580
25	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1
26	ニッケル化合物	2.8	0.7	0.0	0.0	109
27	バリウム及びその水溶性化合物	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
28	砒素及びその無機化合物	0.1	2.0	0.0	0.0	25.3
29	ふっ化水素及びその水溶性塩	0.0	20.3	0.0	0.0	2.4
30	ほう素及びその化合物	0.0	79	0.0	0.0	6.1
31	ホルムアルデヒド	0.2	0.2	0.0	0.0	13
32	マンガン及びその化合物	0.0	6.3	0.0	0.0	2040
33	モリブデン及びその化合物	0.1	0.9	0.0	0.0	30.3
単位：mg-TEQ						
34	ダイオキシン類	920	0.0	0.0	0.0	0.0

2006年度の  
修正部分です。  
6.1-321

※ 届出化学物質数 44 (0.1t以上のものを掲載)

※※ 自社埋立てによる排出はありません。

# P.25 WEB11 日本キャタリストサイクル株式会社

## 会社概要と工程フロー

### 1. 所在地

【本店・新居浜事業所】 愛媛県新居浜市磯浦町 16 番 9 号  
TEL:0897-36-2390 FAX:0897-36-2388

【東京営業所】 東京都港区新橋 5 丁目 11 番 3 号新橋住友ビル  
TEL:03-3436-7895 FAX:03-3436-7738

### 2. 設立

1996 年（平成 8 年）3 月 1 日

### 3. 政府許可・国際規格認証

- 1) 産業廃棄物処分業許可（汚泥、廃油）  
許可の年月：2002 年（平成 14 年）5 月 16 日、愛媛県許可番号 3820085089 号
- 2) ISO9001  
認証取得：2002 年（平成 14 年）10 月 31 日
- 3) ISO14001  
認証取得：2002 年（平成 14 年）11 月 15 日

### 4. 資本金

450 百万円

### 5. 株主

住友金属鉱山（株）100%



工場全景



脱硫触媒から回収した  
モリブデンとバナジウム

### 6. 社長

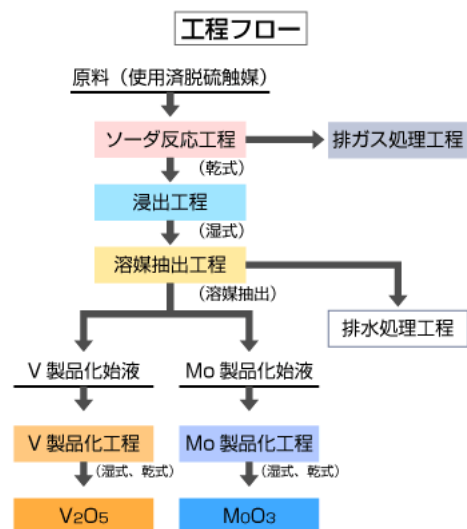
代表取締役社長 友田 勝博

### 7. 従業員

42 名（2008 年 7 月 1 日現在）

### 8. 使用済脱硫触媒の年間処理能力

17,000t / 年



## P.29 WEB12 安全・衛生にかかわる取り組み：こころの健康

社員のメンタルヘルス対策として、2007年4月にSMM管理指針を作成いたしました。この指針に則り産業カウンセラーによる人事労務・安全衛生担当者や管理監督者への研修、専門業者による「心の健康度」の自覚を促すアンケートの実施を通じ、ラインによるケア、スタッフによるケア、自分自身によるセルフケアを促進しています。2008年には、専門医師、臨床心理士による心の健康相談カウンセリングの実施など、ヘルスケアサポートの充実を図ることとしています。